

「住民が、医療や介護を受けながらも、人生の最後まで住み慣れた地域で、自らが選択し自分が望むより良い暮らしが継続できる」を目指して

～在宅で安心して暮すために私たちができること～

職種：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

職種が目指していること：その人らしく健康を維持していくために、個人にあった心身の問題に対しアドバイスができ、生き活きとした生活を見つけるための支援をします。その人の考えや希望が配慮される暮らしができるよう、「支える医療」を提供していきます。

		サービス名	対象者	内容	費用等
職種としてできること	医療保険	急性期から回復期、生活期まで。 (病院中心)	身体的疾患を有する方 ・中枢神経疾患 ・運動器疾患 ・呼吸器疾患 ・心疾患 ・内科的疾患等	○急性期(手術・発症直後)から、病態の理解、リスク管理をしながら介入し、その後の順調な回復のサポートをします。 回復期では、心身の状態を正しく評価し、状況を見極め、様々な選択肢の中から計画・実行し、機能回復に関わります。 生活期では、安定した心身状況の中、残された機能を的確に評価し、代償のできる方法の検討も含め、社会復帰、社会参加のサポートを行います。 ○理学療法、作業療法、言語聴覚療養は医療行為に位置づけられており、医師の指示に基づいて行われます。 ○カンファレンス等を通し情報提供・情報共有を行い、多職種と連携していきます。	医療保険制度内 ※疾患別リハビリテーション料:心大血管疾患リハビリテーション料、脳血管疾患等リハビリテーション料、廃用症候群リハビリテーション料、運動器リハビリテーション料、呼吸器リハビリテーション料、摂食機能療法(算定可能日数、点数は違いあ

職種紹介シート

					り)
	介護 保険	○通所リハビリテーション ○訪問リハビリテーション ○福祉用具選定、住宅改修等の検討	要介護認定者	○通所リハでは、安全な在宅生活に繋がるよう、獲得したい、獲得すべき動作やコミュニケーション方法、摂食嚥下の問題に対し、実用的な練習を実施します。定量的評価をもとに方法や手段の見直し、検討を行います。 ○訪問リハビリでは、より具体的な場面で動作の獲得を目指す。 ○福祉用具、住宅改修等の検討では、残存している心身機能を的確に評価し、利用者の生活状況なども踏まえて、適正な選定について検討、助言します。 ○介護保険関連施設（老人保健施設、老人ホーム等）では、施設内での機能低下予防、ADL 低下予防のために、環境調整も含め支援していきます。	介護保険制度内
	その他	○健康増進 ○介護予防	○地域住民全般	○怪我や病気の予防として、体の使い方や運動の方法、コミュニケーションの取り方や認知機能面への働きかけ等について、助言します。 ○地域の介護予防（教室）やコミュニティ形成にも関わります。リスク管理（転倒や疾病の管理）、運営全体のサポートも行います。 ○地域ケア会議推進リーダー、介護予防推進リーダー等、独自のリーダー制度を設け、より専門的知識をもったリハビリ専門職が関わります。	

職種紹介シート

専門職として伝えたい事	理学療法士は「運動」「動作」を通して、作業療法士は「作業」「活動」を通して、また言語聴覚士は「話す」「聞く」「食べる」ことに通して、個別的な「評価」が医学的・社会的視点から行うことができます。E (Evaluation 評価)、P (PLAN 計画)、D (DO 実行)、C (CHECK 再評価)、A (ACTION 改善) サイクルを繰り返し、個別性を持った関わりを通して、ADL の改善、QOL の向上を目指します。 特に最近では、受傷後・発症後からの関りでだけでなく、予防分野（健康増進、介護予防）でも活躍の場が広がっています。
専門職として困っていること、問題点	○介護予防や健康増進の分野での関りは、リハビリ専門職の役割として非常に重要であります、多くのリハビリ専門職が病院や事業所・施設等に所属しており、所属先の業務とは別に動いているケースが多くあります。この分野での働きが制度化、点数化されていないため、業務の一つとして動きにくい要因となっています。 ○介護予防、健康増進の分野での働きは、単発の事業となることがまだまだ多く、長期的に地域の中に働きかける事の大変さを感じます。
その他	香川県理学療法士会 HP : https://www.kagawa-pt.com/ 香川県作業療法士会 HP : https://kagawa-ot.or.jp/ 香川県言語聴覚士会 HP : https://kagawast.com/